

広土会新聞

第27号

2023.3.1 発刊

発行所 広島工業大学 広土会
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL 082-921-3121

2022 年度を振り返って



広土会会長
石井 義裕

2023年度には広土会は55周年を迎えます。学科ができたのは遡ること1963年になり、今年には60歳となります。つきましては、広土会創立55周年記念事業を9月下旬に開催致しますので、皆様とお目にかかれることを楽しみにしています。詳細は広土会ホームページ等でご確認ください。

大学の掲げるHIT Visionには「同窓会との連携」、「地元企業との連携」が挙げられています。日頃より広土会の皆様には、見学会、非常勤講師、インターンシップや就職活動におけるご協力をいただいております。大変感謝しております。その中でも、広土会の果たす役割は大変大きくなっており、時代や職場を超えたつながりを深める貴重な場だと思えます。若い同窓生の方には、なかなかその必要性を感じないかもしれませんが、卒業生同士のつながりは自ら得ようとしても得られない貴重なものです。是非、広土会の各種行事に積極的に参加をしてみてください。きっと得られるものが大きいと思います。また、各組織におかれましては、若い同窓生の広土会行事

への参加に格段のご配慮をお願いする次第です。

2022年度はコロナ禍が少し落ち着いたため、大学の諸行事も従前の形式に戻っています。11月には2年ぶりに再開した企業懇談会に、多くの同窓生の皆様のご出席をいただきまして、ありがとうございました。講義については、基本的にはコロナ以前の対面型講義に戻りましたが、一部オンライン型授業（メディアを多用した教育ともいいます）の科目も行っています。

環境土木工学科の近況をご報告申し上げます。2022年度は伊藤 雅（教授）が新たに学科長となり教職員14名で学生の教育・研究にあたっています。2023年3月には、森脇武夫（教授）が定年退職されます。森脇先生におかれましては、2018年にご着任以来、専門の地盤工学の研究教育に邁進頂き、多くの卒業生を育成いただきました。今後も学内外において、土砂災害に関する分野においてご活躍されるものと思います。なお、森脇先生におかれましては、2023年度も引き続き、卒業研究をはじめとする学生教育をお願いしています。また、堀部先生（英語）、村中先生におかれましては、2023年度も引き続き教育指導をお願いしています。同窓生の皆様におかれましては大

学に来られた際には是非、先生方のお部屋にお立ち寄りください。先生方の研究室は変更ありません。定年後も非常勤講師をお願いしていました、福原輝幸先生におかれましては、残念ながら2022年度が最終年ということとなりました。小堀慈久先生には引き続き客員教授として学生の資格取得（特に技術士1次試験）に、ご尽力頂いており、通称小堀塾の受講者が在学中の合格に結びついています。

2022年度は70名の入学生があり、学科全体では在籍学生が335名となっています。2023年3月に卒業生する予定者は約97名となっており、本学大学院への進学者も2名います。同窓生の皆様のご尽力もあり、就職率は100%近くとなり大変感謝しています。大学院修了者の就職においても、よろしくお願い申し上げます。現在、就職活動に励んでいる現3年生は72名おり、大学院進学者希望者も数名いるとのことです。引き続き、学生・大学院生の就職へのご協力・ご支援をお願いいたします。（なお、学生数は全て2022年4月時点の人数となります。）

最後になりますが、広土会会員の皆様の益々の発展とご健康を祈念して、挨拶とさせていただきます。

心の映像カタチにします
建設クリエイター

総合建設業



株式会社

栗本

代表取締役社長 前川 拓也
〒733-0035
広島市西区南郷音7丁目14番20号
TEL (082) 293-8500
FAX (082) 295-8231
【営業所】 岩国
<http://www.kurimoto-gr.co.jp>



総合建設コンサルタント
株式会社

ヒロコ

代表取締役社長 下花 眞二

本社 〒734-0011
広島市南区宇品海岸三丁目13番28号
TEL(082) 250-8515(代表)

明るく伸びる



株式会社

伏光組

代表取締役 伏見 光暁

本社 〒734-0013 広島市南区出島1丁目33番61号
TEL (082) 253-6161 FAX (082) 254-4581
(支店) 松江 (営業所) 三次

退 任 挨 拶



退任の挨拶

環境土木工学科 教授

塚本 俊明

広土会の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、2018年に小堀慈久先生の後任として学生支援アドバイザーに就任し、3月末に本学を定年退職することになりました。5年間と短い期間でありましたが、広土会の皆様には大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。

学生支援アドバイザーという立場で学生と直接関わるのは初めての経験であり戸惑いもありましたが、学生支援アドバイザーをはじめ学生相談室、教育学習支援センター等の支援体制を整え、学生の学びや学生生活全般に係るきめ細かな支援を行っているのは、本学ならではの特徴であると感じました。業務の性格上、直接多くの学生と接することはできませんでしたが、広島工業大学ポートフォリオシステム（HITPO）を活用して日々の学修状況の把握を行い、チューターの先生方と連携して支援の必要な学生へのアドバイス等を行ったほか、一部の講義で学生に直接話す機会を与えていただきました。ただ、着任3年目からは新型コロナウイルスの流行により対面での授業が困難な状況が続き、学生と接する機会が少なくなったのが残念です。

学生の進路指導に当たっては、キャリア講演会、インターンシップ、交流会等様々な機会を通じてご支援をいただきました。また、3年目以降は新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、新入生を対象とするオリエンテーションゼミナール（通称「オリゼミ」）では、実際の現場をご案内いただき、大きな刺激を与えていただきました。これらの活動を拝見し、広土会の皆さまと広島工業大学の強い絆を実感した次第です。

私自身は、工業系の地方私立大学での教育に関わるのは初めての経験でしたが、環境土木工学科で育成する人材が、多くの地方自治体や地域の土木建設業をはじめとする多様な産業の活動を支えていることを目の当たりにし、本学科の存在意義を改めて認識することができました。着任一年目

に発生した西日本豪雨による土砂災害など近年の甚大な自然災害が増加する中で、地域の社会インフラを支える土木系の人材育成の必要性は益々大きくなっていると思います。広土会の皆さまのご支援・ご協力のもと、実践的な能力を備えた学生を数多く輩出していくことが本学科の重要な使命であると感じています。

最後になりましたが、広土会の皆様及び本学科の益々の発展を祈念し、退職のご挨拶とさせていただきます。

支 部 だ よ り



近況報告

広島支部長（18期生）

佐藤 稔

皆さまお疲れさまです。広島支部の支部長を務めさせていただいております、今年度中に還暦を迎える昭和61年卒業第18期の佐藤です。

新型コロナとの闘いも3年を経過し、ようやく行動制限なしに暮らしていけるようになってきました。早く季節性インフルエンザと同じ扱いになり、感染したら症状を抑えられる飲み薬が出てきてもらいたいものです。

さて、今年は広土会発足から55年を迎えます。新型コロナの動向が不明確ななか、記念事業を開催するかどうかについて議論がありましたが、顧問の方から60周年記念に向けて「繋ぐ」という意味でも開催した方がいいというご意見をいただき、盛大にとまでは行かなくても参加できる人でそれなりにやろうということに決まりました。会員の皆様には、ぜひ参加していただき、広土会のつながりを深めていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

世の中の大きな流れとして、緊縮財政を継続するだけでは日本の経済成長や国民の豊かさが実現せず、むしろ非成長と貧困化が進んでいるという現実が明らかになり、インフラ整備等による積極財政が必要であるという声が永田町から聞こえてくるようになってきたと言われています。インフラ整備暗黒の時代が終焉を迎える時期が来たのだとしたら、建設業界にとってこれほどありがたいことはありません。

また、気候変動に伴い水害・土砂災害等が頻発・激甚化し、毎年のように尊い命や大切な財産が奪われています。今後も国土の強靱化が強く求められるなか、5,000人に及ぶ広土会会員の皆様におかれましても、いろんな場面で活躍できる機会が増えていけばいいと思っています。建設業界の持続的な繁栄の流れができていけば、広土会の「繋がり」を有効に活用できる機会も増えて行くのではないかと思いますので、引き続き広土会をよろしく願いいたします。

新型コロナで対面することが減り、人と人の繋がりが希薄になってきたと言われています。土木系の学生も減少傾向が進んでいるうえ、若い方は広土会に入会しない人も多いと聞いています。難しい課題ではありますが、どのように繋げていか本気で考えていかないといけませんし、若い力を取り込んで広土会を盛り上げて行かなければいけないと強く感じているところです。

5月にはG7サミットが広島で開催され、世界主要国のトップが広島に集合します。私も仕事の関係で宮島の施設補修など受入れ準備に携わっていますが、この機会に広島の魅力が全世界に発信され、世界各地から広島を訪れる人が増えることを期待しています。

最後になりますが、広島工業大学及び広土会の益々の発展と広土会会員の皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



近況報告

広島西支部長（16期生）

市川 浩志

令和4年4月より、広土会広島西支部の支部長をしております16期生の市川浩志と申します。昨年4月に約2年ぶりに村中先生を来賓に招き広島西支部の総会を開催し約30名の出席者により会計報告、役員改選等を行いました。その後、引き続きコロナ禍でなかなか開けなかった懇親会を行い皆様の近況報告や昔話で大変盛り上がり有意義の会となりました。

私は、広島工大を卒業後、昭和59年から廿日市市役所を38年間勤め、昨年3月末に定年退職しました。市役所では、主に道路・公園事業や土地区画整理事業などのまちづくりを土木職員として整備を進めてきました。また、引き続き4月より

ソーシャル・レジリエンス実現企業として
～ 安全・安心・快適、そしてその先へ ～



増岡組

広島本店 / 広島市中区鶴見町4-25 TEL 082-504-5050
呉本店 / 呉市中央1-6-28 TEL 0823-21-1441
<http://www.masuoka-g.co.jp/>

皆様からの信頼を財産に



八光建設工業株式会社

本社 〒732-0052 広島市東区光町2-4-23
Tel(082)262-8166(代) Fax(082)263-8189
<https://hakkokensetu.co.jp/>

SMART
CONSTRUCTOR

進化するケンセツ

KATO
Construction Co., Ltd.



再任用として市役所にお世話になることになりました。

本市の土木職員は、広工大生が多く占めていますが、ここ数年、卒業生が、入って来ない状況でした。その中で、大学から、学生に対して廿日市市役所のアピールをできる機会をもうけさせてもらい市の職場環境や市の主な事業を広工大OBの職員で説明・質疑応答を行い市の魅力伝えられ、令和4年度は、久しぶりに土木職員が、2名採用され卒業生が増えて活躍を期待しています。

廿日市市は、まちづくりに大変力を入れており、広工大のOBを中心に、宮島口地区の整備事業や産業団地開発等の事業を進めており日々まちが移り変わっていく様子が伺えます。

最後になりますが、広土会の益々の発展と、会員様におかれましては、ご健勝、が活躍をお祈り申し上げます。



近況報告

関東支部 会計 (28期生)
吉本 忠浩

2019年から関東支部の会計を任されている28期生の吉本と申します。広土会会員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

現在私は、日本製紙グループの一員であるフローリックに出向しています。1996年に日本製紙㈱に入社して、すぐにコンクリート技術研究所に配属された為、日本製紙㈱に入社しているのに紙に関しては、詳しいことはほとんど理解しておりません。入社の動機も当時のコンクリートゼミ担当先生から、コンクリート関係の仕事に就けるとのお話をいただき、製紙会社ではありますが入社試験を受けて入社しました。日本製紙㈱では、紙を製造する過程で木材チップを蒸解して原料となるパルプ(セルロース)を取り出していますが、その取り出す過程で廃液としてリグニンが出てきます。このリグニンをコンクリート用化学混和剤として有効利用している為、化成品部門の一つとしてコンクリート用混和剤の研究に取り組んでいます。その後、1999年にグループ会社である㈱フローリックに出向して、現在に至っています。私が勤務している㈱フローリックは、コンクリートの品質向上させる上で必要不可欠な材料であるコンク

リート用混和剤の製造販売を行っている会社で、現在は埼玉県東松山市にある東日本技術センターという部署で勤務しています。主な業務は、顧客(生コン工場やゼネコン等)からのクレームによる製品改良や新商品や特殊コンクリート(高強度コンクリート、ECOコンクリート等)対応の為の現場出張、社内外の研修も行っています。コンクリート試験を実施できる設備を備えた部署で、ほぼ毎日コンクリートを見て充実した日々を過ごしております。近頃のコロナ禍の影響で、働き方に随分変化が出てきました。最近の影響が薄れてきましたが、現場や顧客先でPCR検査が求められることや、顧客訪問の拒否や懇親会が無くなりました。昨年末も忘年会や納会は無く寂しい限りです。一方WEB会議の普及が一挙に広がり、各方面の様々な方と容易に打合せを実施することが可能となりました。ここ数年で随分変わったと実感しています。

2020年1月から新型コロナウイルス感染症の広がりによって、2019年に一度広土会関東支部総会を開いて会計就任の挨拶をして以来、支部総会を開くことが困難となってしまいました。関東支部総会には大先輩方をはじめ、お年を召した方が多く参加されるので、新型コロナウイルス感染症の対策をしても、万が一のことを考えると支部総会を開催するのは躊躇されます。今後、社会情勢を鑑みて参加者全員の安全を確保した上で、関東支部総会が開催できればと考えております。



近況報告

関西支部 (33期生)
田中 啓介

広土会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

私、関西支部の田中(33期生)と申します。私が学生のころは建設工学科でしたが、今では環境土木学科と学科名も変わっており、時の流れを感じる今日この頃です。

前回(第26号)の今田さん(13期生)よりバトンを託されましたので、近況について報告させていただきます。

私は瀬戸大橋に魅せられ、小学生の頃から「将来、橋梁屋に俺はなる」と言っていた、根っからの土木人間です。大学卒業後は、片山ストラテック㈱

(現:日本ファブテック㈱)という大阪の橋梁メーカーに就職し、全国の鋼製橋梁建設現場にて現場監督や施工計画マンなどを行って来ました。

6年ほど前に縁があって㈱IHIインフラシステムに転職しましたが、昔と変わらず現場監督として橋梁に携わっています。よく、転職の理由を聞かれることがあるのですが、「海外の吊り橋工事にチャレンジ」というのが大きいです。外国語が堪能なわけでもなく、日常会話すらできません。それでも「海外のビッグプロジェクトに携わりたい」という想いから海外案件に積極的なIHIへの転職の道を選んだのは、小さい頃からの夢である「吊り橋がやりたい」という、私の根っこの部分が後押ししたのかもしれない。

現在は、京都府宇治市原町の新名神高速道路橋梁建設現場にて、作業所長をしております。宇治市原町は京都府の南部に位置し、東は滋賀(甲賀市)、南は奈良(奈良市)と周辺にゴルフ場が多数点在する、ゴルフ好きにはたまらない町です。私もゴルフが好きで職場の仲間とよくゴルフに行くのですが、ゴルフ歴とスコアが比例しないことに悩んでおります。広土会会員のゴルフ好きの皆様、関西も良いゴルフ場が多数ありますので是非お越しください。

最後に関西支部の報告をさせていただきます。昨今の新型コロナウイルスの影響により、総会や新春の花見大会を3年間中止しております。大先輩や後輩たちと身の上話をしながら飲むお酒は本当に美味しいのですが、その場を開催できないのが本当に寂しいです。今年こそは花見大会を開催し、皆で楽しい時間を過ごしたいと思います。

広土会のますますの発展と会員皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、関西支部の近況報告とさせていただきます。



近況報告

島根県支部 幹事 (35期生)
石飛 満利

広土会会員の皆様こんにちは。私は島根県支部で幹事をしている第35期(平成14年度)卒業の石飛と申します。

大学を卒業して島根県庁に就職し、早いもので20年が経ちました。現在は県庁の出先機関である松江県土整備事務所において、主に道路事業や災

道路埋設指針 建設大臣認定擁壁
PCボックスカルバート ザ・ウォール(H=5.0m)

 株式会社 マシノ

本社 〒733-0822 広島市西区庚午中1-19-23 (082) 507-2757 (代)
東広島営業所 〒739-2312 東広島市豊栄町別府270 (082) 432-4132 (代)
福山支店 〒720-0805 福山市御門町2-5-39 (084) 925-6855 (代)
山口支店 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1130 (083) 973-3533 (代)
山陰支店 〒695-0003 島根県江津市松川町下河戸188 (0855) 55-0124 (代)
本店 〒699-5133 島根県益田市神田町口615 (0856) 25-2380 (代)
工場 広島・江津・益田

夢から感動へーハートテクノロジー

 東洋建設

執行役員中国支店長 藤井 広記
中国支店: 広島市東区光町2-6-24 光町三ビル
TEL:082-205-5050 FAX:082-264-5043

総合建設業

 占部建設工業株式会社

代表取締役 占部 寛

本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号
TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276
広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号
TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779
井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号
TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215
広島営業所 〒731-5135 広島市佐伯区海老園4-4-44
TEL(082)921-2617 FAX(082)921-5443

害復旧事業を担当しています。

近年、全国的に大災害が多数発生しています。令和3年7月には、私が勤務する松江市内でも梅雨前線豪雨に見舞われ、多数の浸水被害や土砂崩れが発生しました。被災直後から、住民からの被災情報をもとに現地を確認し、必要に応じて建設業者に応急復旧工事を依頼する。被災箇所の特定ができればコンサルタントに資料作成をお願いして災害査定を受験する。あっという間に半年が過ぎました。

昨年度の災害は県全域にわたって被害が発生したことから、ご協力いただいた建設業者やコンサルタントの皆様には大変ご負担をおかけしました。おかげで応急復旧及び現地調査を円滑に進めることができました。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

大規模な災害が発生すると、時間に追われ神経が磨り減る思いになりますが、その度に、関わる土木技術者の方々の情熱に感化され、勇気をもらっているのに気付きます。これが土木屋の醍醐味なのでしょうか？現在、本復旧工事の進捗が半分を過ぎたところ です。早期復旧に向け、引き続き努力していきます。

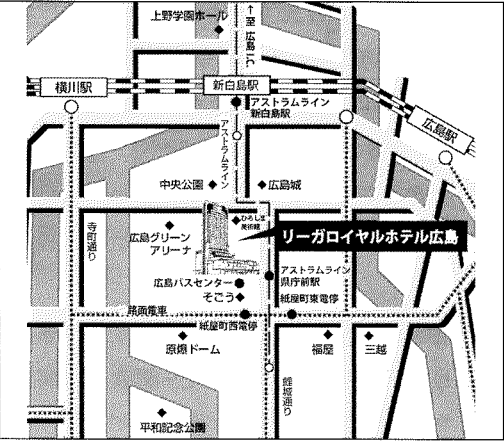
プライベートではここ数年、縁あって地元の少年サッカーチームのコーチをしています。指導しているとは言うものの、子供達から学ばされていることも多く、最近では仕事にもプラスになっているとさえ感じています。お恥ずかしい話ですが、昨年度の災害査定が立て込むさなか、指導中に足を骨折し、10日間入院してしまいました。年はわきまえないといけませんね。

さて、島根支部では、新型コロナウイルスの影響により開催できなかった総会を3年ぶりに開催することができました。15名での開催となり例年よりもやや少ない人数でしたが、久しぶりに皆さんの元気な顔を見ながら近況を語り合うことができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。また、これまで支部では県職員の後輩がいませんでしたが、3名の若者が初参加してくれました。うれしい限りです。コロナに負けず来年も開催できることを祈るばかりです。

最後になりましたが、広土会の益々のご発展と会員皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し、近況報告とさせていただきます。

広土会 55 周年記念事業

- ・開催日：令和5年9月30日（土）
- ・場 所：リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78
- ・詳細は下記の広土会HPを参照してください。
<http://www.kodokai1968.jp/>



事務局 だより

広土会の活動は会員の会費納入で運営されています。同封の広土会会費の納入と連絡先確認のお願い用紙の会費納入欄の右欄の○年3月の○が空白、会費未納あるいは期限切れの方はこの点を御理解いただき、会費の納入をお願い致します。終身年3月の方は会費の納入の必要はありません。

また、20期生の方は会費5,000円納入で終身に移行できますので納入の方よろしく願いいたします。広土会のホームページのアドレスは下記のとおりです。広土会50周年記念事業等を閲覧するには、パスワードが必要となっております。パスワードは下記のとおりです。入力間違いないようにお願いいたします。

広土会新聞は会員の情報誌です。今年度は、5期生－50周年、15期生－40周年、25期生－30周年、35期生－10周年、45期生－10周年を迎えます。記念祝賀会等を行われる場合には事務局にご連絡をいただければご協力いたします。

皆様からの情報、ご意見、ご感想をお待ちしております。FAX、またはメールでご連絡下さい。広土会新聞に投稿記事があれば併せてお願いいたします。

*事務局には専属の事務員がいません。恐れ入りますがご連絡等はFAXかメールにてお願いいたします。
HPアドレス：<http://www.kodokai1968.jp/>
パスワード：kodokai2014
FAX (082) 921-8976 E-mail：kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp

洋ようと 伸びのびと 夢をかたちに



代表取締役 山本 晴樹

本 社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL(082)511-4520
アバンビューグラントワ-7F FAX(082)511-4521
営業所 福山・呉・廿日市・山口・四国・九州
事業所 黒嶽
ホームページ <http://www.yoshin-const.co.jp/>



山陽工業株式会社

SANYO CONSTRUCTION CO.LTD

代表取締役 鈴江 克彦 (S62年3月卒)

広島市中区十日市町1丁目1-9 〒730-0805
TEL(082)232-6471 FAX(082)291-2233
<http://www.landingsanyo.co.jp/>



株式会社 神 崎 組

代表取締役社長 神 崎 文 吾

本 社 姫路市北条口三丁目22番地
T E L 姫路 (079) 223-2021 (代表)
F A X 姫路 (079) 281-8191
支 店 大阪
事業所 敦賀・三木・岩国